

市民公益活動を支援します！

CNSuita

市民ネットすいた Civil Network Suita

ニュース No.10

発行日 2014 (平成26)年3月1日

発行所 NPO法人市民ネットすいた
(吹田市市民公益活動センター指定管理者)

新年度に向かって市民公益活動は、そして「市民ネットすいた」は、何に、どう取組んで行くべきか？

今号では、吹田市市民公益活動審議会会長の澤山利広さん（関西大学国際部教授）に、これからの市民公益活動のあり方、当法人やNPOの進むべき方向について、当法人理事長の長谷川がインタビューさせていただきました。（取材 2月2日）

市民公益活動審議会会長になられて

Q.澤山先生、審議会会長になられたご感想は？

A.吹田市は、国際姉妹都市交流の関係で5年前に初めて知って以来で、市民公益活動に熱心な都市だなと感じました。前副会長の山内直人先生からお話があって審議会委員になり、2期目に早瀬昇前会長の後を受けて会長になりました。他の委員の皆さんも代わり、ハテサテと思いながら、責任の重さも感じています。

市民活動の資金調達と広報の重要性について

Q.昨年ラコルタで発行した「ボランティア・NPO実態調査報告」について

A.吹田市民公益活動促進補助金審査会の時読みました。そもそも、支援するのは公益の増進を図るのが目的で、NPO 支援はその手段なんですね。しかし、公益の増進を前提にしようと思っておられるところには資金は非常に大事です。ラコルタに是非申請や運営のアドバイスをお願いしたいところです。

市民公益活動の問題は二つあるかな？まず一つは資金調達をどうするか。潜在的な掘り起しができていないから、補助金申請の応募が少ない。二つ目は、広報ですね。ボランティアやNPOを最初に作った人の思いは高い。それをどう継承していくか。仲間集めをどうするか。資金をどうするか。高齢医療や予防医学の講座をしても、内容は非常に良くても参加者が少ない。担い手も少ないのがNPOの衰退の原因なんですね。NPOの支援団体と市民公益



活動の連携が出来ればいいんですが、方法論がないんですね。スタッフの個人的なやり方で生きてくると思いますね。

ラコルタは10年かかって、やっと生まれたんですが、それが数年後どう継承されていくか、もうそろそろ考えて行かないといけません。ラコルタが良いモデルケースになることが、市民公益活動のいい循環になるのではと思います。生まれるまでが目標ではなく、その継承が大事なんですね。

Q.国内のNPOに比べて先生のご専門の国際協力、資金の集め方や資金力があるように思いますが？

A.海外の災害等の場合、短期間でしかも、日赤など大きな所にお金が出て行く。極少ないリーダーが専門的に奔走して集めています。しかし、継続的には難しいですね。資金が被災者や飢餓、貧困対策、開発援助などのために使われていることを積極的にアピールすることも必要です。

また、最近ボランティアのエネルギーや発想を企業セクターが吸収するようになって、企業本来の儲けるという目的と兼ね合わせてやるという循環がみられると思います。昔は企業の社会貢献というとCSR（企業の社会的責任）、昨今はコミュニティビジネス、儲けるけれども地域社会に貢献するといった形で、社会的なこ

ろを変えて行こうという動きが見られて、NPO の存在意義も問われていると思うんですね。

昨年の 11 月 30 日をもって、これまでの公益法人というのは、一般社団か一般財団、または公益社団か公益財団に分かれましたけれども、今後は企業セクターも NPO の活動領域に進出してくる。NPO が地域コミュニティの問題を解決しようとする時、国や自治体の補助金だけではなく、ミッションを同じくする企業とコラボする視点も必要です。民間企業と連携することで、NPO の存在意義が高まることが期待されます。

行政は市民から税金を頂いているわけですから、どうしても判断が慎重になりますが、企業は早いです。吹田にも企業が色々あると思うので、企業にも足を運ぶ行動力が必要かな。NPO と企業が連携することですね。旧来型の市民公益活動から踏み出して、企業と話ができる、企業とコラボできる体制を作っていきたいところです。

Q.吹田駅南商店街で大学生にも協力してもらったんですが、商店との連携も大事ですね。

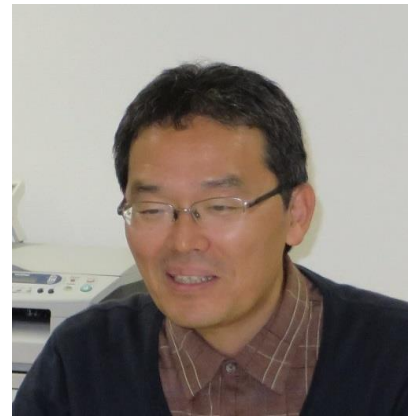
A.吹田駅の商店街のボランティアに学生も参加してやってましたね。

Q.NPO 側の見せ方が学生さんにはどのように映っているのですかね？

A.NPO のような組織体になると、一挙に塀が高くなる意識があるみたいです。楽しさを伝えて活動の輪を広げていくことが課題です。

Q.楽しそうなボランティアだと集まってくれますね。介護のボランティアだとか地域おこしのボランティアという言い方だけをすると、引いてしまうんですね。これが地域おこしになるんだよ、という結果や成果で話すと解りやすいのかな。

A.社会人に加わって、ボランティアには責任が伴い自発的にやるんだけれども責任と自覚が伴う。それに楽しさもありこれらをどう折り合いをつけて入ってもらうか。逆に、



ソフトに話される澤山会長

学生のパワーと発想をどう取り込むか。関大生だけでも学生が 3 万人いますからね。大きいですよ。コーディネータ育成が大切です。

Q.関連して、中間支援組織「市民ネットすいた」の話に移りたいのですが、・・・

A.吹田市は、吹田駅周辺、江坂・垂水町、千里ニュータウン、千里丘・岸辺周辺、とそれぞれ地域の特性があります。地域の状況によって、きめ細かい知恵が必要なんですね。「市民ネットすいた」には、資金調達のアドバイスや広報面でのサポートが求められます。これからは国も地方自治体も、財政的な面で非常に難しい時代に入ると言われています。家計にとって GDP の増減は大した関心事ではないだろうし、そもそも家計収入が増えたからといって、必ずしも幸せ度合いが向上する訳ではない。社会の成り立ちを見直すことこそが求められています。新しい仕組みを作らないといけない時期なんですね。

それを促すキーワードのひとつが、自発性・利他性・先駆性を本質とするボランティアではないでしょうか。それは、全ての人々が日常生活の中で発揮すべき行動特性です。「市民ネットすいた」や「ラコルタ」などの中間支援組織が、企業のアプローチ「社会貢献の考え方」と一緒になって解決してもらいたいと思います。

澤山利広先生のプロフィール

吹田市市民公益活動審議会 会長

関西大学国際部 教授

大阪大学大学院国際公共政策研究科 修士
博士（国際公共政策）



長谷川理事長

裁縫で子どもの自立

1年生からの裁縫塾
塾長 大場 知香



平成23年度「まちづくり市民塾」に採用して頂いた「1年生からの裁縫塾」で塾長をさせて頂いております。

一昔前、針仕事は各家庭の日常的な光景でした。小さい頃から親の針の使い方を見て自然と覚えていましたが、昨今は家で裁縫をする機会が減っている為、子供に針を持たせる事も少なくなりました。

家庭内で針を使う事が少なくなった今、子どもにどのように裁縫を身近な習慣にさせるかを試行錯誤しながら毎回活動しております。



参加する子どものほとんどが、初めて針と糸を使います。初めは様子を窺っていますが、作り方をわかりやすく丁寧に説明すると、難しいながらも自分で努力し、何回か練習をすると手付きも慣れて、玉留めも上

手に作れるようになります。

失敗してやり直すこともあります、出来上がった作品は、子どもにとって特別なものになります。

子どもなりに自分で出来る達成感を得られれば、こちらが過剰に手を貸さなくても自主的に行動しますので、どこまで手を貸すのかを考えながら指導する事も大事です。

「裁縫は楽しい」と感じてもらう事が、家庭で裁縫をするきっかけになれば、今後の活動の励みになります。

子どもたちが、ここで得たことを元に様々な技術を身に付けてもらえることが、この活動の意義だと思います。

「なんでやねん?！」

ボランティア市民グループ
ドリームネット
代表 田邊 昭



「人間砂漠」の中のオアシスに

人権擁護のグループ（吹田市のボランティアガイドブック）に登録の理由は、ややともすれば社会的弱者として、片隅へ追いやられがちな子ども・高齢者・身しょう者の尊厳を守るため。個人の著作権保護の知的所有権管理士でもあります。

十年一昔

今は三年一昔のベースで、2003年発足後3年毎にホップステップジャンプと、留学生との多文化共生；ミニ文化交換会・文部科学省「子どもの居場所作り」事業に、年52回ドリーム教室を開催参画・UNHCRの広報、募金協力・メモリアル記憶活性化の「懐かしい歌声の集い」、免疫力アップのための料理教室等など、7年目頃より「大人の寺子屋＝脳力・五感活性化で、華麗な黄金期を迎えるための華金塾」を月2回好評開催中です。

七夢のあやとり

グループの歌を作詞、七つの「ワ」を織り入れて軽快な前進歌としています。

「・・・夢は枯野を駆け巡り」

芭蕉の未来志向歌、発足後十年の折り返し点で、虹色の美しいシャボン玉と輝いた一部のメンバーも上空に昇れず画龍点睛を欠いたのか消滅。同士と同志の差が分岐点なのか？残る櫻花は満開中！

HOWからWHYへ「なんでやねん?！」

と問題提起してそれを皆で共有したい。
現代に通じる意外性寓話＝古事記神話篇シリーズ
底辺に隠された哀愁＝小倉百人一首シリーズ
漢字・仮名文字の豊かさ＝日本のことば遊び
歌人たちの想いに迫るタイムトリップ＝万葉集
超古代オーパーツ・

脳トレ、神経活性化
体操・ツボエステ等

アット言う間の

「150分」です！



NPO 法人 市民ネットすいた 2014 年通常総会開催のご案内

NPO 法人市民ネットすいた 2014 年通常総会の開催日程が決まりましたのでお知らせします。

会員のみなさまには、4月になりましたら総会通知をお送り致しますが、是非ご予約の上ご参加くださるようお願いいたします。

あわせて、入会の受付もしていますので、広く市民のみなさまの参加入会を歓迎いたします。

記

1. 日 時 2014 年 5 月 18 日 (日)
午後 2 時～
2. 会 場 ラコルタ (吹田市立市民公益活動センター) 会議室

大阪府も市民公益税制導入か！

2008 年に導入された市民公益税制は、個人が公益団体に寄付した場合に、所得税と住民税の税額の一部が控除されるというものです。住民税の控除は、地方自治体の管轄になりますが、大阪府はこの制度を導入していません。

この制度には、大きく分けて 2 つの制度が含まれています。社会福祉法人や学校法人、認定 NPO 法人など指定基準が高い団体を対象にするものと認定 NPO 法人以外の NPO 法人を対象にするものです。

前者は、大阪府以外の全ての都道府県が導入済みで、府内の一部自治体も導入済みです。後者は、一部の道府県が導入しています。そして、私たちに直接影響があるのは後者の制度 (➤に続く)

(➤ から続く) です。NPO 法人に寄付をすると、翌年度の住民税が少なくなるのです。

大阪府は、この 2 つの制度を導入すべく準備を進めているようです。具体的には、

- ①この 2 つの制度を条例で決め、
- ②翌年から寄付すると住民税の控除を受けられる NPO 法人を指定し、
- ③寄付者の住民税減税を実施します。

ただし、実際に寄付者の住民税が少なくなるのは翌々年です (住民税の徴収は 1 年遅れ)。

しかし、全ての NPO 法人が対象になるわけではなく、大阪府に指定される必要があります。その指定基準はこれから検討されるようですが、先行している神奈川県では、①行政や企業・団体、地域住民から支持を受けているなどの公益要件と②認定 NPO 法人制度に準じた運営要件により審査が行われています。

今後、NPO 法人は、寄付金という市民からの支持を得るために専門的なスキルやノウハウを地域の課題解決に積極的に活用する必要があります。

市民は、そのような NPO 法人を支えることによって、間接的に市民公益活動に参加し、市民社会の実現に寄与することになります。

ところが、その制度は大阪府では導入されませんが、吹田市は導入する予定がないようです。それによって、住民税の内の府民税だけは少なくなります。市民税は少なくなります。是非とも吹田市もその制度を導入していただきたいと思います。

また、吹田市は、NPO 法人の認証権限も大阪府より委譲されていません。近隣市は、既に認証権限の委譲を受けています。

大阪府と吹田市は、私たち NPO 法人がより一層活躍できるように環境整備を図っていただきたいです。

編集後記・新年度も間近。1、2 面澤山市民公益活動審議会会長の示唆に富んだお話は、私たち中間支援組織はもちろん、市民公益活動を進める上でも、非常に役立つ内容が取材出来たと思っています。ぜひ団体運営や市民活動の参考にお読みください。・吹田市民はそれぞれ献身的に活発なボランティア活動をしているとは言え、まだまだ解決していかなければならない大小さまざまな未開の社会的課題もあります。協力いただける方募集中。

CNSuita ニュース
NPO法人 市民ネットすいた

ホームページ [市民ネットすいた](#) も検索ください

事務局 〒565-0862 吹田市津雲台1-2-1
千里ニュータウンプラザ6階
TEL 06-6875-7459
FAX 06-6875-7461
E-MAIL mail@cnsuita.com

情報のご提供、ご意見などお寄せください。